

---

# ひとりごと ~ by myself ~ Part 2

本城沙衣

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ひとりごと ～ by myself ～ Part 2

### 【Nコード】

N1655V

### 【作者名】

本城沙衣

### 【あらすじ】

【横書き編集をしています。】

長い間、こゝ愛読いただきました、『ひとりごと～by myself～Part1』からの続きです。

151話からの編集になっております。

みんな、それぞれ色々な思いがあり、日々、それぞれが頑張ってきています。

切ないこと・哀しいこと。

嬉しいこと・楽しいこと。

思ったことと想ったこと・感じたこと。

愚痴？

ちょっとムカついたこと。

色々な“思い”や“想い”を抱えて生きているからこそ綴れること  
がありますよね。

「ひとりごと」……というより「つぶやき」です。

主観ばかりの凝った描写もない作品の上、ふと感じたことを、その  
ままその時に書いておりますので、1話1話が繋がっていないペー  
ジもあります、共感して戴ける部分などありましたら嬉しいです。

末永く、お付き合い下さいませ(´▽`)m

\*1ページに3話掲載です。

151話〜153話(前書き)

ひとりごと by myself Partyよりの続きとして、  
151話より連載させていただきました。

Partyに引き続き、ご愛読いただけましたら本当に嬉しく思います。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本城沙衣

151話〜153話

151・寧々……

一昨日 愛犬の寧々が天国へ行った

“逝った”という文字を使いたくないから

“行った”って……

天国には

可愛がってくれたケリーがいるよ

それから父も

淋しくないよね

ママは

淋しいよ

152・青い空へ……

煙突から上がる煙が

青すぎる空へのっぼっていた

「晴れててよかったね」

なんて思えなかった

「行っちゃうの!」だけだった

あの日

10年前のあの日

哲也が青い空へ煙と一緒にのぼって行った

シンクロした

そして同じ言葉を繰り返していた

「ありがとう」

「ごめんね」

「ありがとうね」

153・言いたいこと……

いてくれるだけでいい

本当に心から思う

今 言いたいこと

「寧々、ただいま」

\*長年一緒に過ごした、愛犬の寧々が7月22日の朝、亡くなりました。

3か月前、被災地へ救助犬として向かったケリーの訃報も受けました。

昨日、寧々の火葬が終わり、ペット霊園に眠るケリーに「寧々をお願いね」とお願いして来ました。

我が子同然のふたり。

新作の最初のお話が亡くなった寧々のことになってしまったのはフクザツですが、ずっと残せる活字ですので、敢えて書かせていただきました。

154話〜156話

154・8月に……

朝、窓からの風は秋の匂いがした

同時に遠くから蝉に声が聞こえた

蝉の声で「今が夏」ということを意識できたけれど

この気候は何なんだろう

夏といえば暑いのが当然で

今年は節電しているせいかな

ある程度の？我慢”は覚悟していたのに

煌めく夏の太陽が

私たちのココロを活気づけてくれるのは

8月になってからなのかな

155 . 蝉の音が……

東京では蝉の音が聞こえないと

皆の間で噂になっている

かろつじて

ここ最近、私は聞くことが出来たけれど

まだ聞いていない人も多いみたい

夏なのに夏じゃない

なんだか 何処か淋しい7月の日々

156 ・キャラじゃないけど……

いつもは スタッフには甘い私

これじゃ、過保護のダメ親になっちゃっよ

それで奮起した

これ、私のキャラじゃないけど

仕事は仕事として割り切ろうと思った

それで いつもより厳しい言葉をかけた

あるスタッフは突き放した

とはいっても

やっぱりキャラじゃない私としては

何とも後味が悪く……

その前に下手だ、私　そういうの

それでも

仕事は仕事としての一線は大切に

そうでなければ仲間との調和も

取ることも難しくなることは目に見えている

だから、ここは心を鬼にして

毅然とした態度で接しようと決心した

そのうち慣れるかな……愛のムチ



157話〜159話

157 . 語るなら……

キミと会う時は いつも土砂降りだね

しかも 急なドシャブリ

もしキミとの思い出を語るなら

“雨”じゃなくて

“ドシャブリ”なんだろうな

それ、ちょっと笑えるけど

今の気持ち

笑えない

これからね

シビアナ話をしないといけないから

シンドイ

158 ・そうなんです……

「強い人だね」ってよく言われる

だから期待に応えようと

大きな気持ちで受け止めようとした

その自信もあった

出来ると思った

でも……

あまりにも予期しない出来事だったから

なぐんにも言えなくなっちゃった

私までネガティブになっちゃったよ

そうなんです

私だって普通に感情ある人間なのです

ついでに言えば

アナタが思っている以上に

女の子なんです！

159・気付いて……

ある事があって

自分をつくらなければならぬ時はある

case by case といふことだ

でも

それをやりすぎると

人を傷付けていることは多くあるよ

特に関係が近かったら

？本来”を隠して？つくる”ということとは

そうそう長い間

その状態を保てるものでもないから

何処かで？本来”が出るものなんだよね

その時 相手は思うんだよ

「訳わからない」

「何考えてるかわからない」

「どうして……?」

そろそろホンモノの自分を出さないと

疲れてまいってしまふのは

アナタだよ

その時

一番困るのが相手だよ

アナタがいつも言っている

「傷つけどくない」相手

その人だよ

そのことに早く気付いてほしい

自分を守るのはそろそろやめようか

160話〜162話

160 . また明日……

JUJUの「また明日」という楽曲

その曲のサビ

また明日〜……

ここを初めて聞いた時 ドキッとした

「また明日ね」と言えることが

どれほど幸せかということ

ずっと思ってたから

いつも何気に言っていたその言葉

言えなくなった時の寂しさとか

哀しさとか切なさを

嫌というほど噛みしめたから

「また明日ね」って言えることは

その人が「明日」も変わらず隣にいてくれて

同じ笑顔を向けてくれることがわかっているから

「明日」

喧嘩をするかもしれないけれど

それでも

話すことは出来るということ

仲直りも出来るということ

「いじめんね」とも言えること

当たり前前のごことが実は当たり前前のごことではないと

真摯に受け止めるごことが出来たのは

あの日からだった

161・10年後の……

ZONEの再結成を觀て  
本当に羨ましかった

10年後の約束

「10年後の8月にまた会おうね」

約束、果たせたんだねって

10年前

約束は果たせないという事実を突きつけられた

『secret base』君がくれたもの』

当時、歌詞がその時に私に起こったこととリンクして

泣いた

でも カラオケでは定番みたいに唄っているよ

二度と会えないってわかっていても

キミに届けるために

私は今もキミと一緒に頑張っているよって思いながら

生きていたら会える

失恋とかも かなり辛いよね

でも どんな別れ方をしても

会いたいって思ったら

かなりの勇気は要るかもしれないけど

勇気出したら 会える時はあるよ

過去も未来も……

もちろん現在も大切に……

162 · It's my……

愛するってどっいっことだろっね

なんて長い間考えて

自分なりに辿り着いたところがある

逃げない強さ

守り抜く強さ

恋愛に限らず 男女も問わず

“愛する人”がいたら

“そこ”だと思った

Give me your loneliness  
and I'll give you tenderness

世界中の哀しみをすべて受けとめてもいい

世界中から置き去りにされても

信じているその瞳を It's my truth

これ、『TRUTH』の一部の歌詞

またまた見事にシンクロしましたね

自分が辿り着いたところに

だからね 逃げないよ

アナタから どんなことを聞いても  
どんなことを打ち明けられても

アナタをアイシテルから

今、アナタの周りにいてくれる人たちを大切に……

163話〜165話

163・恋愛に……

“恋愛に駆け引き”

これは、よく聞かれること

引いたり押ししたり……

告白できるまで

お付き合いできるまで

一種 ゲーム感覚かもしれないね

もともと

これは後になって思えることで

しかも「恋愛成就！」のあかつき

頑張っている時は

その時は“ゲーム”なんて思うことは難しくくて

切ないとか辛いとか……

携帯サイトの占いと睨めっこしていたり

あの人の一挙手一投足に翻弄されたり

けっこう大変な毎日かも

でも

“ゲーム感覚”で“それ”を楽しめたら

毎日が楽しい!?

いや〜!

ムリだ!

“ 駆け引き ” 得意じゃない〜！

164 ・押しちゃった……

今日中にメール返信すべきか否か

タイミング見てみようか

やっぱり即返かな……

なんて考えている間に押しっちゃったよ

送信ボタン

ドストレートです、ワタケシ

165・最近はね……

何年前までは

恒例の『24時間テレビ』の放送が終わると

夏が終わっていた気がしていた

学生の頃もそうだったな

『24時間テレビ』が終わると

「あゝ、夏休みが終わっちゃう！」って

最近は何……それが

『お台場合衆国』になった

166話〜168話

166・危機感……

あんなに構えられてると

こっちも構えちゃうよ

というか 緊張に近いし

どうして今更、緊張しないとイケないの？

これじゃ、コミュニケーションどころじゃないし！

コミュニケーションとらないとやって行けないよ！

お互いに歩み寄らないと判らないよ

アナタのキモチ

気持ちがわからなかったら

お互いにメリットないよ

これ 危機感を感じてもいいことだよね

でも

恋愛じゃないんです、これ

お仕事相手なのです

まいったな〜

167・お互いの……

あれ……？

構えられてるってことは……？

あれ？

もしかしたら

こっちが構えちゃってる？

あれ？

そうだよね……構えられる覚えなし

確か最初は自然体で接していたはず……

あれ？

だったら

どうして私、構えてしまっているのでしょう

相手に恋でもしちゃってる？

いえ！していません！

とキツパリ言える……と思う……

あれ？

全然 わからない

お互いのキモチ

168 .今は……

わ〜！

何、言ってるんだろ、ワタシ

というか

何、悩んでいるんだろ、ワタシ

相手に構えられるとか

自分が構えるとか

ビジネス絡みの時は当然のようにあること

まして

大切なお話だったり

初対面だったりね

………ということは………

何か 意識しちゃってる？

意識されちゃってる？

いやー！

これは絶対にない！

と、否定しておこう　今は……

今度の打ち合わせ

気がおもしろい！

169話〜171話

169 . いつになく……

朝晩の風がひんやり感じる

もう秋なんだ……

外では相変わらず蝉の声が聞こえているけれど

季節は刻々と移り変わっていると実感

季節の移り変わりにこんなに敏感になった年

今まであったかな……

いつになく感傷的になっている

今年の夏の終わり

170・存在……

毎年 夏は何故か“激動”という言葉があてはまる

私の人生

確かにバイオリズムというのは存在しているらしい

その“激動”と打破すると

待っているのは 夏前と違う自分

うん……

思い返すと 確かにそれも存在している

“激動”を言い換えると“転機”ともいえるような

夏の出来事さまざま

笑って泣いて……その経験が今のワタシを支えている事実

これもまた確かに存在している

171・Memorial Days……

残暑が過ぎる頃から初冬にかけて

待っているのは 私にとっての

哀しい Memorial Days

あれから10年

あれから8年

あれから……

大切な大切な人たちが突然いなくなった

その時期

あれから我武者羅に生きてきた

いつか

いつかね……

私がそっちへ行つた時に

「頑張つて来たよ」「って

笑つて再会できるように

その思いも私を支えてくれている

「今はまだ頑張っているよ」

172話〜174話

172・青い空に……

「澄み切った青い空に一筋の飛行機雲」

本来、青い空はこうあるものと頭に描いた

澄み切った青い空に黒煙が立ち上るなんてあり得ない

あつてはいけない

もうリアルタイムでは二度と見たくない

その光景

2011/9/11

173 . ちよつとだけ……

また残暑が戻ってきた

暑いけれど 気持ちはホッとしているような

変なカンジ

急に風向きが変わり

あつという間に夏が終わってしまった感があったから

いろいろあつたな……

ちよつとだけ取り戻すまで

もう少しだけ 夏の気分でいたい

暑いのは……ちょっと大変だけど

まだ着ていないお洋服だつてあるし

いきなり女の子になってしまった……

秋の気配 もうちょっと待ってて

174 我が儘だね……

中秋の名月

F a c e b o o kのお友達が見事なお写真をアップしていた

やっぱり秋の足音はもう届いているんだね

夏の足跡はまだ残ったままなのに

四季を感じることが出来るというのは

幸せだけれど

それと共に時間の流れも

否応なく感じる

時には止まってほしいと思う

時には進んでほしいと思う

我が儘だね、これ



175話〜177話

175・なぐんて……

秋だね……感傷的だね……

色付く木々の葉

頬を撫でる秋色の風

澄み渡る何処までも青い空

溜め息ひとつ……あの夏の日……

なぐんて乙女になっていられないの！

机を見ると山積みの資料！

メールに電話！

秋色の乙女は来月までオアズケ

グスン

176・占いを……

あら、珍しくあの方からの電話

うふ

一応、お仕事のお話ではあったもけれど

あの方からの電話なんてめったにないから

ちよっとルンルン

で、携帯登録してある占いを観たワタクシ

「あの人はどうして連絡をくれたの？」項目に  
思いつきり念を込めてボタンを押したら

「あの人は義務的に連絡してきたのでしょ

おそらく、仕事で確認したいことがあったみたい」

……………当たってるし

177 ひらがなに…………

某SNSでメールが送信できないことがあった。

理由は「不適切な用語が含まれています」だって。

一応、活字系は専門。

不適切用語は書かないよ。

何回読み直しても、それらしき言葉はないし。

とりあえず、多少の疑わしき言葉を抜いてもダメ。

もうSNSからの返信はやめようとした、その時。

ふと思い出したのが某クイズ番組。

漢字変換した言葉を全部ひらながに直して

句読点や記号などを抜かして続けてみた。

ちよつと意地になっていたかも。

あつた！

「うん！この曲、よかったよね。」

あと、「また、ここで会いましょう」「っていう曲。無事に聴こえてたよ。ありがとね。」

何だか涙が出てきちゃった。」

この1節に3か所……まいった

それにしても、こういうプログラムは

困りますね〜

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1655v/>

---

ひとりごと ~ by myself ~ Part 2

2011年10月17日01時54分発行